

LOAD4_20 更新情報

作成日 : 2/21/2010 4:34:00 PM

最終改訂日 : 2018/02/26 15:39:00

作成者 : JCARCOPINO

LOAD4_20 の説明

本 zip ファイル (*tech_LOAD4_20_full_package.zip*) には以下のハードウェアの各ファームウェアアップデートに必要なすべてのファイルが含まれています。

- **NXAMP4x1** : ファームウェアバージョン **LOAD4_20**
- **NXAMP4x1mk2** : ファームウェアバージョン **LOAD4_20**
- **NXAMP4x2mk2** : ファームウェアバージョン **LOAD4_20**
- **NXAMP4x4** : ファームウェアバージョン **LOAD4_20**
- **NXAE104** : ファームウェアバージョン **0x1D05**/ソフトウェアバージョン **0119**
- **NXDT104** : ファームウェアバージョン **0x1C09**/ソフトウェアバージョン **0.3.5.3**
- **NXES104** : ファームウェアバージョン **0x0D0E**

NXAMP のバージョン番号は、起動時にフロントパネルの画面に表示されます。また、NeMo または Auvitrans 社のリモートコントロールソフトウェア AVS-Monitor から、各デバイスの「Control」ページでも確認できます。NXAE104/NXDT104/NXES104 のバージョン番号についても、AVS-Monitor の「Properties」ページ (NXDT104 の場合は Dante™ Controller) あるいは NeMo または NeFu で確認できます。

NXDT104 および NXES104 には複数のプロセッサ/ファームウェアレイヤーがあります。以下に各ファームウェアの詳細を示します。

- NXDT104 (上記のファームウェアパッケージ)
 - 製品バージョン (Dante Controller/デバイス情報) 3.5.3
 - ソフトウェアバージョン (Dante Controller/デバイス情報) 0.3.5.3
 - ソフトウェアバージョン (Dante Controller/Dante 情報) 3.10.2.2
 - ファームウェアバージョン (Dante Controller/Dante 情報) 4.0.2.5

- NXES104 (ファームウェアパッケージ 0x1D0E)
 - Ethersound カーネルバージョン 3.09

上記のハードウェア (NXES104 を除く) をアップデートするには、本パッケージ内のソフトウェア、**NeFu v1.1** (Windows/MAC) を使用する必要があります (NXES104 については後述を参照)。

NXAE104、NXDT104、または NXES104 を NXAMP に取り付ける場合、**ネットワークポートを使用してカードのファームウェアもアップデートする必要があります**。NXAMP のシリアルポートからアップデートすると、NXAMP ファームウェアのみがアップデートされます。

文書ファイル

- *LOAD4_20_whats_new.pdf*: 本書です。

NXAMP 関連 :

- *LOAD4_20_4ch_setups_list.pdf*: 4ch Nexo セットアップ一覧表です (pdf)。
- *LOAD4_20_4ch_setups_list.xlsx*: 4ch Nexo セットアップ一覧表です (xlsx)。
- *LOAD4_20_speakers_library.pdf*: Nexo スピーカーライブラリーです (pdf)。
- *LOAD4_20_speakers_library.xlsx*: Nexo スピーカーライブラリーです (xlsx)。

NeFu 関連 :

- *NEXO NeFu-User Guide-v1.1.pdf*
- *NEXO NeFu-Guide d'utilisation-v1.1.pdf*

NeMo 関連 :

- *NEXO Nemo-User Guide-v2.1.pdf*
- *NEXO Nemo-Manuel d'utilisation-v2.1.pdf*

AVS-Monitor 関連 :

- *AVS-Monitor User manual.pdf*
- *AVS-Monitor FAQ.pdf*

Dante 関連 :

- *AUD-MAN-DanteController-4.0.6.x-v1.0.pdf*
- *AUD-MAN-DanteVirtualSoundcard_3.10.x-v1.0.pdf*
- *AUD-MAN-Via-User_Guide-v2.0.pdf*

ソフトウェアファイル

- *NEXO NeFu (Nexo ファームウェアアップデート) v1.1* : NEXO ファームウェアバージョン 1.1 アップデート用のソフトウェアです。 .dld ファイルを使用します。
- *NxWin4 Setup v4.2.1.8* : NEXO ファームウェアセットアップバージョン 4.2.1.8 アップデート用の Windows™ (7~10 用) ソフトウェアです。 .dld ファイルを使用します。 今後は後継の *NEXO NeFu v1.1* が使用されるため、このソフトウェアはファームウェアパッケージには含まれません。 ただし、NeFu は Ethersound™ リモートコントロールプロトコルに対応していないため、NXES104 をお使いの場合は Nxwin4 を使用する必要があります。 Nxwin4 は以下の URL からダウンロードできます。
https://nexo-sa.com/shares/upload/LOAD4_20_for_NxWin4.zip
- *AVS-Monitor Setup v5.10.38.4746* : Ethersound™、Dante™、または IP ベース (NXAE104 向け) ネットワーク上の NXAMP 機器をリモートコントロールする Windows™ (7~10 用) ソフトウェアです。

NeFu を適切に使用して機器のファームウェアをアップデートできるように、NeFu のユーザーマニュアルを注意してお読みください。

ファームウェアファイル

- *LOAD4_20.dld* : NEXO ファームウェアの最新版です。 **NXAMP4x1、NXAMP4x1mk2、NXAMP4x2mk2、NXAMP4x4、NXAE104、NXDT104、およびNXES104** で使用します。
- *LOAD4_19.dld* : NEXO ファームウェアの旧版です。問題が生じた場合、前回のバージョンに戻すことができます。

LOAD4_20 の新機能の説明

大きな変更

LOAD2_55 以降、以下の大きな変更内容が導入されました。

NXAMP4x4 ファームウェアのアンプ保護機能に関する不具合が確認され修正されました。

NXAMP4x4 をご使用中のすべてのお客様は、ファームウェアを LOAD2_55 またはそれ以降のバージョンにアップデートしてください。

新たなキャビネット対応

ありません。

ファームウェアの変更とバグの修正

NXAMP

ありません。

NXAMPmk2

第 1 世代 NXAMP 用に以前リリースされたものと同じ NEXO のキャビネットセットアップを含んだ初回ファームウェアを公開しました。

NXAE104

ありません。

NXDT104

- NXAMPmk2 機器の検出機能を修正しました。
- NXAMPmk2 への取り付け時の 44.1、48、88.2、および 96 KHz の Dante™ストリーミングをサポートしました。

AVS-Monitor

ありません。

LOAD4_20 のキャビネットセットアップの変更

ありません。

キャビネットのセットアップ名

キャビネットのセットアップ名をわかりやすく系統立てて表示するために、以下の略語を使用します。

WB = ワイドバンドセットアップ (最大限低い設定のハイパスフィルターを使用)

XO = クロスオーバーセットアップ (高めの設定のハイパスフィルターを使用)

PA = パッシブモード (アクティブ/パッシブモード対応製品)

AC = アクティブモード (アクティブ/パッシブモード対応製品)

MON = モニターセットアップ (特定のフェーズ特性、最小レイテンシー)

BR = ブリッジモード

OM = 無指向性 (オムニ) モード (オムニ/カーディオイド切替対応製品のみ)

CD = 指向性 (カーディオイド) モード (オムニ/カーディオイド切替対応製品のみ)

FR = カーディオイドモードでのフロントスピーカーに使用されるチャンネル

BA = カーディオイドモードでのリアスピーカーに使用されるチャンネル

B2B = バックツーバックモード (カーディオイドモードが2つのキャビネットを必要とする製品)

S2S = サイドツーサイドモード (カーディオイドモードが2つのキャビネットを必要とする製品)

DF = ダウンフィル (ダウンフィル用途に使用されるラインアレイモジュール)

既知の問題

NXAMP

- (NXAMP フロントパネル、AVS-monitor、または NeMo から) セットアップビルダーを使用してカスタムアクティブセットアップを作成する場合、2つのチャンネル間でパッチとディレイがリンクしません。アクティブモードで両方のチャンネルに同じパッチと同じディレイが適用されていることを確認してください。
- 「リレーミュート」オプションが有効の場合、NXAMP のフロントパネルの「Peak」LED (赤色) が点灯することがあります。この場合でも、NXAMP に問題はありませぬ。

NXAMPmk2

- NXAMPmk2 のレイテンシーは、現在、第 1 世代の NXAMP と一致していません。

連絡先

LOAD4_20 に関するバグのご報告または詳細説明につきましては technical@nexo.fr までご連絡ください。

旧ファームウェアの履歴情報

LOAD4_19更新情報

大きな変更

LOAD2_55以降、以下の大きな変更内容が導入されました。

NXAMP4x4 ファームウェアのアンプ保護機能に関する不具合が確認され修正されました。

NXAMP4x4 をご使用中のすべてのお客様は、ファームウェアを LOAD2_55 またはそれ以降のバージョンにアップデートしてください。

新たなキャビネット対応

ありません。

ファームウェアの変更とバグの修正

NXAMP

- NXAE104 および NXDT104 を使用したときに発生するアナログフォールバック機能の不具合を修正しました。
- LF インピーダンス監視機能用に低周波数帯域 (20~42 Hz) を追加しました。パイロットトーンの最大振幅が2Vに低減されました。
- GPIO モード1 (ミュート/非ミュート) の不具合を修正しました。
- GPIO モード5 への変更：
 - <GP 入力1> 0 (デフォルト) : パワーアンプ作動可、1: パワーアンプ作動不可
 - <GP 入力2> 0 (デフォルト) : アナログ入力非ミュート、1: アナログ入力ミュート
 - <GP 入力3> 0 (デフォルト) : デジタル入力ミュート、1: デジタル入力非ミュート
 - <GP 入力4> 0 (デフォルト) : シーン1呼び出し/シーン2呼び出し
 - <GP 入力5> 0 (デフォルト) : NXAMPオン、1: NXAMPスタンバイ
- <GP 出力1> 0: チャンネル1インピーダンスNG、1: チャンネル1インピーダンスOK
- <GP 出力2> 0: チャンネル2インピーダンスNG、1: チャンネル2インピーダンスOK
- <GP 出力3> 0: チャンネル3インピーダンスNG、1: チャンネル3インピーダンスOK

- <GP出力4> 0: チャンネル4インピーダンスNG、1: チャンネル4インピーダンスOK
 - <GP出力5> 0: 全チャンネル用インピーダンスNG、1: 全チャンネル用インピーダンスOK
 - <GP出力6> 0: NGアンプチャンネルあり、1: 全アンプチャンネルOK
 - <GP出力7> 0: チャンネル1、2、および3用インピーダンスNG、1: チャンネル1および3用インピーダンスOK
 - <GP出力8> 0: チャンネル1および3用インピーダンスNG、1: チャンネル1および3用インピーダンスOK
- <NB> 起動中にGPOが正しく配置されなかった可能性があります。

NXAE104

- NeMo またはサードパーティ製リモートコントロールソフトウェアを使用したときに接続が切れる不具合を修正しました。

NXDT104

- NeMo またはサードパーティ製リモートコントロールソフトウェアを使用したときに接続が切れる不具合を修正しました。
- Dante™ controller で機器名が失われる問題を修正しました。
- 起動ステータス時のロックの問題（「Starting up...」）を修正しました。
- アナログバックアップ時の不具合を修正しました。

AVS-Monitor

- 軽微な不具合を修正し、安定性が向上しました。

LOAD4_19のキャビネットセットアップの変更

他のNexoキャビネットと合わせるために、GEOM10セットアップのEQを微調整しました。

MSUB15と組み合わせて使用するために、LS18に35~60 Hzの新しいクロスオーバーを追加しました（オムニとカーディオの両方）。

LOAD4_18 更新情報

LOAD4_18のユーザー向けファームウェアアップデートの公式リリースはありません。

LOAD4_17 更新情報

LOAD4_17の公式リリースはありません。

LOAD4_16 更新情報

LOAD4_16の公式リリースはありません。

LOAD4_15 更新情報

LOAD4_15 の公式リリースはありません。

LOAD4_14 更新情報**大きな変更**

LOAD2_55 以降、以下の大きな変更内容が導入されました。

NXAMP4x4 ファームウェアのアンプ保護機能に関する不具合が確認され修正されました。

NXAMP4x4 をご使用中のすべてのお客様は、ファームウェアを LOAD2_55 またはそれ以降のバージョンにアップデートしてください。

新たなキャビネット対応

ありません。

ファームウェアの変更とバグの修正

NXAE104

- NXAE104 カードのファームウェアを更新できないことがあった不具合を修正しました。

NXDT104

- AVS-Monitor を使用したときに発生するリモートコントロールの問題を修正しました。

Nxwin

- NXDT104 を使用したときに、Nxwin がカード検出の前に AVS-Service を適切に終了できず、「Not in download mode」のエラーが発生する問題を修正しました。

AVS-Monitor

- ボリュームの調節時にリモートコントロールできなくなる問題を修正しました。

LOAD4_14 のキャビネットセットアップの変更

一部の NEXO セットアップにおいて微調整を行いました。

- 2~3 台の GEO M10 セットアップの EQ の微調整
- GEO M10 スタッキングモニターセットアップの EQ の微調整
- ID24 セットアップの EQ の微調整

LOAD4_13 更新情報

LOAD4_13 の公式リリースはありません。

LOAD4_12 更新情報**大きな変更**

LOAD2_55 以降、以下の大きな変更内容が導入されました。

NXAMP4x4 ファームウェアのアンプ保護機能に関する不具合が確認され修正されました。

NXAMP4x4 をご使用中のすべてのお客様は、ファームウェアを LOAD2_55 またはそれ以降のバージョンにアップデートしてください。

新たなキャビネット対応

GEOM1012、GEOM1025、および MSUB15 スピーカーのサポートが追加されました。

GEOM1012 では、指向性調整フランジの有無に関わらず、以下のセットアップを使用できます。

- 1台のスタンドアロン用セットアップ (63、75、85、95、または 120 Hz のハイパス)
- 2~3台のアレイ用セットアップ (63、75、85、95、または 120 Hz のハイパス)
- 4~6台のアレイ用セットアップ (63、75、85、95、または 120 Hz のハイパス)
- 7~12台のアレイ用セットアップ (63、75、85、95、または 120 Hz のハイパス)
- スタッキングモニター用セットアップ (63、75、または 85 Hz のハイパス)

GEOM1025 では、指向性調整フランジの有無に関わらず、以下のセットアップを使用できます。

- 1台のスタンドアロン用セットアップ (63、75、85、95、または 120 Hz のハイパス)
- 2~3台のアレイ用セットアップ (63、75、85、95、または 120 Hz のハイパス)
- スタッキングモニター用セットアップ (63、75、または 85 Hz のハイパス)

MSUB15 では、指向性調整フランジの有無に関わらず、以下のセットアップを使用できます。

- オムニモードのメインセットアップ (63、75、85、95 または 120 Hz のローパス)
- オムニモードのモニターセットアップ (63、75、85、95 または 120 Hz のローパス)
- カーディオイドモードのリアおよびフロントセットアップ (63、75、85、95 または 120 Hz のローパス)

このシステムには、4チャンネルの NEXO プリセットも使用できます。

- 4~6台のアレイ用に GEOM1012 の4つのチャンネル (ワイドバンド)
- 2~3台のアレイ用に GEOM1012 の2つのチャンネルと、MSUB15 の2つのチャンネル (85 Hz クロスオーバー)
- 2~3台のアレイ用に GEOM1012 の2つのチャンネルと、MSUB15 の2つのチャンネル、ただしスタッキングモニターモード (最小レイテンシー)

すべての NEXO セットアップは位相互換性がある (つまり、すべてのシステムは 20~20 kHz の同じフェーズ特性を共有している) ため、いずれのシステムも複数使用したり、カタログ内のいずれかのサブと一緒に使用したりできます。ただし、レイテンシーが最小になるモニター (MON) セットアップは、同じシリーズのスピーカーのみで使用します。

ファームウェアの変更とバグの修正

NXAMP

- ユーザーEQの不具合（起動後、EQパラメーターが変更されるまで、チャンネル3と4でEQがリコールされなかった不具合）を修正しました。
- フィルターをパラメトリックからシェルフまたはハイパス/ローパスに変更したときの、ユーザーEQパラメーターのQ値を制限しました。
- 使用されるセットアップに応じてNXAMPのピークリミターを改善しました。

NXAE104

- NeMoなどのネットワークリモートコントローラー、またはQSC™ Q-sys™などのサードパーティ製ハードウェアから、NXAE104をリモートコントロールできるようになりました。

NXDT104

- NeMoなどのネットワークリモートコントローラー、またはQSC™ Q-sys™などのサードパーティ製ハードウェアから、NXDT104をリモートコントロールできるようになりました。

LOAD4_12のキャビネットセットアップの変更

GEOM6用の4チャンネルのNEXOプリセットにおいて微調整を行いました。

- 2~3台のアレイ用にGEOM620の4つのチャンネル（ワイドバンド）が、4~12台のアレイ用にGEOM620の4つのチャンネルになりました。
- 4~12台のアレイ用にGEOM620の2つのチャンネル（LS18をブリッジ接続）が、2~3台のアレイ用にGEOM620の2つのチャンネル（LS18をブリッジ接続）になりました。

LOAD4_09からLOAD4_11更新情報

LOAD4_09からLOAD4_11までの公式リリースはありません。

LOAD4_08更新情報

大きな変更

LOAD2_55以降、以下の大きな変更内容が導入されました。

NXAMP4x4ファームウェアのアンブ保護機能に関する不具合が確認され修正されました。

NXAMP4x4をご使用中のすべてのお客様は、ファームウェアをLOAD2_55またはそれ以降のバージョンにアップデートしてください。

新たなキャビネット対応

ありません。

ファームウェアの変更とバグの修正

NXAMP

- GeoD 後部スピーカー保護の不具合を修正しました。
- NXES104 を使用した際のアナログフォールバック機能の不具合を修正しました。
- NXAE104 を使用した際のアナログフォールバック機能の不具合を修正しました。

LOAD4_08 のキャビネットセットアップの変更

ありません。

LOAD4_07 更新情報

LOAD4_07 の公式リリースはありません。

LOAD4_06 更新情報

大きな変更

LOAD2_55 以降、以下の大きな変更内容が導入されました。

NXAMP4x4 ファームウェアのアンプ保護機能に関する不具合が確認され修正されました。

NXAMP4x4 をご使用中のすべてのお客様は、ファームウェアを LOAD2_55 またはそれ以降のバージョンにアップデートしてください。

新たなキャビネット対応

ありません。

ファームウェアの変更とバグの修正

NXDT104

- NeMo のダイレクトコントロールに使用するリモートコントロールのプロトコルを一時的に削除しました。
- 一部の NXDT104 機器の動作が不安定でリモートコントロールできなくなったり、ネットワークが不安定になったりしていた問題を修正しました。

Nxwin

- 軽微な不具合を修正しました。

LOAD4_06 のキャビネットセットアップの変更

- **ID24 セットアップ**を利用できるようになりました。特定の用途に合わせて、指向特性ごとに種類の異なる 4 つのセットアップから選択できます。それぞれのセットアップを試して、最適なセットアップを選択してください。各セットアップは、4 つの異なるクロスオーバー周波数で

使用できます（4つの指向特性 x 4種類のセットアップ x 3つのクロスオーバー = 合計 48種類のセットアップ）。

- MAIN は、旧ファームウェアのセットアップに類似しており、ほとんどの FOH 用途に推奨されるセットアップです。
- FRONT FILL は、より大きなシステムを補完するフロントフィルとして使用する場合に推奨されます。
- MONITOR は、モニター用途に推奨されます。警告: このセットアップは、レイテンシーが低いため、サブを含む他の Nexo キャビネットとの位相互換性がありません。
- LOUNGE は、クラブやラウンジでの用途に推奨されます。

LOAD4_05 更新情報

LOAD4_05 の公式リリースはありません。

LOAD4_04 更新情報

大きな変更

LOAD2_55 以降、以下の大きな変更内容が導入されました。

NXAMP4x4 ファームウェアのアンプ保護機能に関する不具合が確認され修正されました。

NXAMP4x4 をご使用中のすべてのお客様は、ファームウェアを LOAD2_55 またはそれ以降のバージョンにアップデートしてください。

新たなキャビネット対応

ありません。

ファームウェアの変更とバグの修正

NXAMP

- NXAMP のフロントパネルから、NXDT104 のモード変更（スイッチ/リダンダント）機能を削除しました。

NXDT104

- NEXO スロットから、スイッチ/リダンダント機能を削除しました。
- Ethernet ポートが複数接続されているときにエラーメッセージの表示が不安定になる問題を修正しました。
- 起動モード時のロックの問題を修正しました。
- NeMo のダイレクトリモートコントロールのプロトコルを公開しました。

NXAE104

- NeMo のダイレクトリモートコントロールのプロトコルを公開しました。

AVS-Monitor

- 軽微な不具合を修正しました。

Nxwin

- 拡張カードのファームウェアをアップグレードまたはダウングレードできるようになりました (旧バージョンではアップグレードのみ)。

LOAD4_04 のキャビネットセットアップの変更

- ありません。

LOAD4_03 更新情報

LOAD4_03 の公式リリースはありません。

LOAD4_02 更新情報**大きな変更**

LOAD2_55 以降、以下の大きな変更内容が導入されました。

NXAMP4x4 ファームウェアのアンプ保護機能に関する不具合が確認され修正されました。

NXAMP4x4 をご使用中のすべてのお客様は、ファームウェアを LOAD2_55 またはそれ以降のバージョンにアップデートしてください。

新たなキャビネット対応

ありません。

ファームウェアの変更とバグの修正**NXAMP**

- リモートコントロールでイコライザーを適用した場合に発生する不具合 (即時に適用されず、ON/OFF する必要があった) を修正しました。
- ユーザーEQ がデフォルトで OFF になるようになりました。
- ハイパスおよびローパスの制限 (600 Hz) がなくなりました。
- スピコン NL8 出力で接続した場合に DPU で発生する不具合を修正しました。
- カスタム DPU ルーティングオプションを使用した Nexo 4 チャンネルセットアップをリコールしたときに発生する不具合を修正しました。
- 複数のカスタムセットアップをリコールしたときに発生するフロントパネルのミュートボタン

の不具合を修正しました。

- メニューが多数存在する場合に一番後ろのメニューが選択できない不具合を修正しました。

NXDT104

- Dante™ ID が NXDT104 メモリに正しく保存されない不具合を修正しました。
- NeMo および NeMoMac から NXAMP をダイレクトコントロールするときに使用するプロセスが不安定だった問題を修正しました。

NXAE104

- NeMo および NeMoMac から NXAMP をダイレクトコントロールするときに使用するプロセスが不安定だった問題を修正しました。

AVS-Monitor

- ユーザーEQのインターフェースの不具合を複数修正しました。
- キャビネット名およびクロスオーバーを読み取るときの不具合を修正しました。

Nxwin

- NXDT104 のファームウェアをダウンロードするときの不具合を修正しました。
- NXAMP のファームウェアをダウンロードするときの不具合を修正しました。

LOAD4_02 のキャビネットセットアップの変更

- IDS110 および IDS210 の極性が反転され、Nexo のその他のサブに合わせて調整されるようになりました。
- IDS110 および IDS210 で、3つのクロスオーバー周波数（85 Hz、95 Hz、および 120 Hz）を利用できるようになりました。
- ID24 全体でイコライザーを若干見直しました。
- M46 HF セットアップ（名称: M46 HF B）用に新しいセットアップが導入されました。将来使用する目的で確保されたセットアップ（カスタム構成の場合にのみ利用可能）です。現時点では、Nexo 4 チャンネルプリセットまたは「M46 HF」プリセットをカスタムモードで使用してください。

LOAD4_01 更新情報

大きな変更

LOAD2_55 以降、以下の大きな変更内容が導入されました。

NXAMP4x4 ファームウェアのアンプ保護機能に関する不具合が確認され修正されました。

NXAMP4x4 をご使用中のすべてのお客様は、ファームウェアを LOAD2_55 またはそれ以降のバージョン

ョンにアップデートしてください。

新たなキャビネット対応

- ID24 60°x60°、95 Hz~20 KHz 帯域
- ID24 60°x60°、120 Hz~20 KHz 帯域
- ID24 60°x60°、150 Hz~20 KHz 帯域

- ID24 90°x40°、95 Hz~20 KHz 帯域
- ID24 90°x40°、120 Hz~20 KHz 帯域
- ID24 90°x40°、150 Hz~20 KHz 帯域

- ID24 120°x40°、95 Hz~20 KHz 帯域
- ID24 120°x40°、120 Hz~20 KHz 帯域
- ID24 120°x40°、150 Hz~20 KHz 帯域

- ID24 120°x60°、95 Hz~20 KHz 帯域
- ID24 120°x60°、120 Hz~20 KHz 帯域
- ID24 120°x60°、150 Hz~20 KHz 帯域

- IDS110 オムニモード、40~85 Hz 帯域
- IDS110 オムニモード、40~120 Hz 帯域
- IDS110 カーディオイド（フロントとバック）モード、40~85 Hz 帯域
- IDS110 カーディオイド（フロントとバック）モード、40~120 Hz 帯域

- IDS210 オムニモード、40~85 Hz 帯域
- IDS210 オムニモード、40~120 Hz 帯域
- IDS210 カーディオイド（フロントとバック）モード、40~85 Hz 帯域
- IDS210 カーディオイド（フロントとバック）モード、40~120 Hz 帯域

2つの新しいNEXO 4チャンネルセットアップも利用できるようになりました。

- 4チャンネル ID24 120°x40°、95 Hz~20 KHz
- ステレオ ID24 90°x40°、95 Hz~20 KHz 帯域+ステレオ IDS110 サブウーファー、40~120 Hz 帯域

ファームウェアの変更とバグの修正

NXAMP

- 各チャンネルに 8 バンドフルパラメトリックユーザーEQ（ローシェルビング、パラメトリック、ノッチ、およびハイシェルビング）を追加しました。
- NXAE104 を使用したアナログフォールバックモードに対応しました。
- ファームウェアアップグレード後にフラッシュメモリをアップグレードした場合に発生する不具合を修正しました。
- DPU の自動パッチアルゴリズムを改善しました。
- 2 つの新しい DPU 出力モード（SPK8 での「Pass-through」および「All」）を追加しました。
- フロントパネルから NXDT104 のスイッチまたはリダントモードを確認および編集できるようになりました。
- ディレイのステップ間隔を小さくしました。

NXDT104

- NeMo および NeMoMac から NXAMP をダイレクトコントロールできるようになりました（AVS サービス不要）。

NXAE104

- NeMo および NeMoMac から NXAMP をダイレクトコントロールできるようになりました（AVS サービス不要）。

LOAD4_01 のキャビネットセットアップの変更

- M28 のダウンフィルセットアップ（180 Hz~20 KHz 帯域）が使用できるようになりました。
- M620 のセットアップが 3 つのグループに分かれました。
 - M620（1 台、スタンドアロン）、70 Hz~20 KHz 帯域
 - M620（1 台、スタンドアロン）、85 Hz~20 KHz 帯域
 - M620（1 台、スタンドアロン）、120 Hz~20 KHz 帯域

 - M620（2~3 台アレイ）、70 Hz~20 KHz 帯域
 - M620（2~3 台アレイ）、85 Hz~20 KHz 帯域
 - M620（2~3 台アレイ）、120 Hz~20 KHz 帯域

 - M620（4~12 台アレイ）、70 Hz~20 KHz 帯域

- M620 (4~12 台アレイ)、85 Hz~20 KHz 帯域
- M620 (4~12 台アレイ)、120 Hz~20 KHz 帯域

注: 4~12 台構成のアレイセットアップは、旧ファームウェアから変更されていません。

- LS18 をカーディオイド (フロントとバック) モード、35 Hz~85 Hz 帯域で使用できるようになりました。
- LS18 をカーディオイド (フロントとバック) モード、35 Hz~120 Hz 帯域で使用できるようになりました。

一部の NEXO 4 チャンネルセットアップにも変更があります。

- 変更または追加された 4 チャンネル M6 セットアップは以下のとおりです。
 - 4 チャンネル M620 (1 台)、70 Hz~20 KHz 帯域
 - 4 チャンネル M620 (2~3 台)、70 Hz~20 KHz 帯域
 - ステレオ M620 (4~12 台) とステレオ LS18、クロスオーバー 120 Hz
- 削除された 4 チャンネル M6 セットアップは以下のとおりです。
 - 4 チャンネル M620 (1~3 台)、70 Hz~20 KHz 帯域
 - 4 チャンネル M620 (1~3 台)、120 Hz~20 KHz 帯域
 - 4 チャンネル M620 (4~12 台)、70 Hz~20 KHz 帯域
 - 4 チャンネル M620 (4~12 台)、120 Hz~20 KHz 帯域
 - ステレオ M620 (1~3 台) とステレオ LS18、クロスオーバー 120 Hz

LOAD3_24 から LOAD4_00 更新情報

LOAD3_24 から LOAD4_00 までの公式リリースはありません。

LOAD3_23 更新情報

大きな変更

LOAD2_55 以降、以下の大きな変更内容が導入されました。

NXAMP4x4 ファームウェアのアンプ保護機能に関する不具合が確認され修正されました。

NXAMP4x4 をご使用中のすべてのお客様は、ファームウェアを LOAD2_55 またはそれ以降のバージョンにアップデートしてください。

新たなキャビネット対応

ありません。

ファームウェアの変更とバグの修正

NXAMP

- M28 のダウンフィルセットアップが DPU で正しく接続できるようになりました。

LOAD3_23 のキャビネットセットアップの変更

LOAD3_23 ではキャビネットセットアップの変更はありません。

LOAD3_22 更新情報

大きな変更

LOAD2_55 以降、以下の大きな変更内容が導入されました。

NXAMP4x4 ファームウェアのアンブ保護機能に関する不具合が確認され修正されました。

NXAMP4x4 をご使用中のすべてのお客様は、ファームウェアを LOAD2_55 またはそれ以降のバージョンにアップデートしてください。

新たなキャビネット対応

「CUSTOM」セットアップメニューから利用できる帯域で、Geo M6、Geo M6B、Geo S1210-ST、Geo S1230-STに加えて、新しいSTMM28 キャビネットも使用できるようになりました。

- M28 LF、60～900 Hz 帯域
- M28 LF、85～900 Hz 帯域
- M28 LF、120～900 Hz 帯域
- M28 LF、180～900 Hz 帯域
- M28 LF、120～900 Hz 帯域、ダウンフィル構成に最適化（「DF」）

- M28 HF、900 Hz～20 KHz 帯域
- M28 HF、900 Hz～20 KHz 帯域、ダウンフィル構成に最適化（「DF」）

- M620（1～3 台アレイ）、70 Hz～20 KHz 帯域
- M620（1～3 台アレイ）、85 Hz～20 KHz 帯域
- M620（1～3 台アレイ）、120 Hz～20 KHz 帯域

- M620（4～12 台アレイ）、70 Hz～20 KHz 帯域
- M620（4～12 台アレイ）、85 Hz～20 KHz 帯域
- M620（4～12 台アレイ）、120 Hz～20 KHz 帯域

- M6B、70~180 Hz 帯域
- M6B、85~180 Hz 帯域

- S1210-ST (パッシブモード)、50 Hz~20 KHz 帯域
- S1210-ST (パッシブモード)、60 Hz~20 KHz 帯域
- S1210-ST (パッシブモード)、85 Hz~20 KHz 帯域
- S1210-ST (パッシブモード)、120 Hz~20 KHz 帯域

- S1210-ST LF、50 Hz~1 KHz 帯域
- S1210-ST LF、60 Hz~1 KHz 帯域
- S1210-ST LF、85 Hz~1 KHz 帯域
- S1210-ST LF、120 Hz~1 KHz 帯域

- S1210-ST HF、1~20 KHz 帯域

- S1230-ST (パッシブモード)、50 Hz~20 KHz 帯域
- S1230-ST (パッシブモード)、60 Hz~20 KHz 帯域
- S1230-ST (パッシブモード)、85 Hz~20 KHz 帯域
- S1230-ST (パッシブモード)、120 Hz~20 KHz 帯域

- S1230-ST LF、50 Hz~1 KHz 帯域
- S1230-ST LF、60 Hz~1 KHz 帯域
- S1230-ST LF、85 Hz~1 KHz 帯域
- S1230-ST LF、120 Hz~1 KHz 帯域

- S1230-ST HF、1~20 KHz 帯域

9つの新しいNEXO 4チャンネルセットアップも利用できるようになりました。

- ステレオ M28 ダウンフィル (ダウンフィル構成に最適化した 120 Hz セットアップ)
- ステレオ M28 フライニング構成 (85 Hz ハイパスセットアップ)
- M28 と S118 のスタック構成 (120 Hz クロスオーバー)

- ステレオ M620 (1~3 台アレイ) と、NXAMP4x1 アンプにブリッジモード (120 Hz クロスオーバー) で接続した LS18 の組合せ
- ステレオ M620 (4~12 台アレイ) と、NXAMP4x1 アンプにブリッジモード (120 Hz クロスオーバー) で接続した LS18 の組合せ
- 4 チャンネル M620 (1~3 台アレイ) 、 (70 Hz ワイドバンドセットアップ)
- 4 チャンネル M620 (4~12 台アレイ) 、 (70 Hz ワイドバンドセットアップ)
- 4 チャンネル M620 (1~3 台アレイ) 、 (120 Hz ハイパスセットアップ)
- 4 チャンネル M620 (4~12 台アレイ) 、 (120 Hz ハイパスセットアップ)

詳細については *LOAD3_22_4ch_setups_list* および *LOAD3_22_speakers_setups_list* の各文書をご覧ください。

ファームウェアの変更とバグの修正

NXAMP

- ありません。

NXDT104

- 名前 (Dante ID) の先頭に必ず必要な 「Yxxx-」 部分を除いて、NXAMP 名を Dante Controller に変更できるようになりました。
- Dante のクロック同期の不具合を修正しました。

警告: いったん NXDT104 をファームウェア 0x1C03 にアップデートすると、LOAD3_16 より前の NXAMP ファームウェアでは使用できなくなります。

LOAD3_16 より前のファームウェアバージョン搭載の NXAMP がファームウェア 0x1C02 以降の NXDT104 を装着された状態で起動されると、以下のエラーメッセージが表示されます。

"I2c Error: No Ack Received"

この問題を解決するために、NXAMP ファームウェアを LOAD3_16 以降にアップデートしてください。

ソフトウェアの変更

- Nxwin4.2.0.6 で、Windows 8 のシリアルポートでのダウンロード時に生じる不具合を修正し、複数の NXAMP (NXDT104 取り付け済みのものを含む) のアップデートが 1 回で行えるようになりました。

LOAD3_22 のキャビネットセットアップの変更

LOAD3_22 では、最新の改良が行われています。

EQ 設定の変更

- ありません。

フェーズ・アラインメントの変更

- ありません。

保護機能の変更

- すべてのセットアップにおける熱保護機能のアタック/リリースタイムを改善しました。

機能の変更

- ありません。

LOAD3_17 から LOAD3_21 更新情報

LOAD3_17 から LOAD3_21 までの公式リリースはありません。

LOAD3_16 更新情報

大きな変更

LOAD2_55 以降、以下の大きな変更内容が導入されました。

NXAMP4x4 ファームウェアのアンブ保護機能に関する不具合が確認され修正されました。

NXAMP4x4 をご使用中のすべてのお客様は、ファームウェアを LOAD2_55 またはそれ以降のバージョンにアップデートしてください。

新たなキャビネット対応

ありません。

ファームウェアの変更とバグの修正

NXAMP

- アナログフォールバックオプション（Ethersound または Dante ネットワークからデジタルオーディオの入力がないときには自動的にアナログ入力を使用します）。
- ハードウェアミュートオプションを実装しました（ミュート時にアンプリレーを外します）。
- 一部のユーザーパッチパネルに対応するために、スピコン接続の自動設定を無効にできるようになりました。
- DMU の表示メーターを改善しました。
- NXDT104 装着時の、起動中の不正なオーディオクロックの問題を解決するために、新しい起動手順を採用しました（シグナル LED が点灯し、起動時に誤った短絡警告がトリガーされる場合があります）。

NXDT104

- Dante ソフトウェア v3.6.4.16 ベースで、ファームウェア v1.7 の Yamaha CL から NXAMP Dante パッチを適用できます。

警告： いったん NXDT104 をファームウェア 0x1C02 にアップデートすると、以前のバージョンの NXAMP ファームウェアでは使用できなくなります。

LOAD3_16 より前のファームウェアバージョン搭載の NXAMP がファームウェア 0x1C02 以降の NXDT104 を装着された状態で起動されると、以下のエラーメッセージが表示されます。

“I2c Error: No Ack Received”

この問題を解決するために、NXAMP ファームウェアを LOAD3_16 以降にアップデートしてください。

ソフトウェアの変更

- AVS-ESmonitor（このパッケージに含まれている AVS-ESmonitor v3.20.5 以降）または NeMo（バージョン 1.3 以降）で、NXAMP の現在のパラメーターとシーンを 1 つのアンプから別のアンプや別のアンプグループへコピー/貼り付けできるようになりました。
- AVS-ESmonitor の表示メーターを改善しました。

LOAD3_16 のキャビネットセットアップの変更

LOAD3_16 では、STM セットアップで最新の改良が行われています。

EQ 設定の変更

- STM M46 HF のアレイ EQ を 6 KHz ハイシェルフから 10 KHz ハイシェルフに変更しました。

フェーズ・アラインメントの変更

- ありません。

保護機能の変更

- ほとんどのセットアップのピークリミターのアタック/リリースタイムを微調整しました。
- STM M46 MF の熱保護機能を調整しました。
- VCEQ スレッシュホールドに関する GeoD のフロントパッシブセットアップの不具合を修正しました。

すべての STM システムで一貫性と互換性を保てるよう、今回の最新版ファームウェアに更新することを強く推奨します。

機能の変更

- Nexo セットアップナンバー19 (GeoD パッシブワイドバンド) で、チャンネル 1 と 2 (バックとフロント) が適切にリンクされました。
- カスタムセットアップで S118 カーディオを使用する場合、S118 フロントまたは S118 バックのみを選択できるようになりました。

既知の問題

NXAMP

- (NXAMP フロントパネルまたは ESmonitor から) セットアップビルダーを使用してカスタムアクティブセットアップを作成する場合、2 つのチャンネル間でパッチとディレイがリンクしません。アクティブモードで両方のチャンネルに同じパッチと同じディレイが適用されていることを確認してください。

LOAD3_15 更新情報

大きな変更

LOAD2_55 以降、以下の大きな変更内容が導入されました。

NXAMP4x4 ファームウェアのアンプ保護機能に関する不具合が確認され修正されました。

NXAMP4x4 をご使用中のすべてのお客様は、ファームウェアを LOAD2_55 またはそれ以降のバージョンにアップデートしてください。

新たなキャビネット対応

「CUSTOM」セットアップメニューから利用できる 2 種類の帯域で、新しい LS18 サブウーファーがサポートされています。

- LS18、35~85 Hz 帯域
- LS18、35~120 Hz 帯域

4 つの新しい NEXO 4 チャンネルセットアップも利用できるようになりました。

- LS18 x 4 チャンネル (85 Hz ローパスセットアップ)
- PS15R2 パッシブクロスオーバーと LS18 の組合せ (85 Hz ローパスセットアップ)
- S1210 パッシブクロスオーバーと LS18 の組合せ (85 Hz ローパスセットアップ)
- S1230 パッシブクロスオーバーと LS18 の組合せ (85 Hz ローパスセットアップ)

詳細については *LOAD3_15_4ch_setups_list* および *LOAD3_15_speakers_setups_list* の各文書をご覧ください。

ファームウェアの変更とバグの修正

NXAMP

- 新しい Dante カーネルをサポートし、ファームウェア v1.7 の Yamaha CL から NXAMP Dante パッチを適用できます。
- アナログフォールバックオプション (ネットワークからデジタルオーディオの入力がないときには自動的にアナログ入力を使用します)。
- AVS-ESmonitor で、NXAMP の現在のパラメーターとシーンを 1 つのアンプから別のアンプや別のアンプグループへコピー/貼り付けできるようになりました。
- ハードウェアミュートオプションを実装しました (ミュート時にアンプリレーを外します)。
- NXAMP4x1 のデジタル入力ゲインの不具合を修正しました (5.5 dB がありませんでした)。

ソフトウェアの変更

ありません。

LOAD3_15 のキャビネットセットアップの変更

LOAD3_15 では、STM セットアップで最新の改良が行われています。

EQ 設定の変更

- すべての STM セットアップで +6 dB のゲインが追加されました (M46、B112、および B118)。

- STMM46 の 8500 Hz 超の HF を 2 dB 下げました。
- すべての STM で「C1」セットアップを削除し視認性が向上しました。
- 一部のアクティブセットアップで HF アレイ EQ を実装しました。
 - 45N12 アクティブ HF
 - Alpha M3 HF
 - AlphaE アクティブ HF
 - GeoD アクティブ HF
 - S1210 アクティブ HF
 - PS15 アクティブ HF
 - PS15R2 アクティブ HF
- LS400 と LS600 で LF アレイ EQ に若干の変更を行いました。

フェーズ・アラインメントの変更

- M46 MF 85-850 セットアップのディレイを微調整しました (0.15 ミリ秒)。

保護機能の変更

- M46 と B112 のピークリミタースレッシュホールドとアタック/リリースタイムを微調整しました。
- ほとんどのセットアップのピークリミターのアタック/リリースタイムを微調整しました。
- M46 MF の熱保護機能のスレッシュホールドを 3 dB 下げました。
- M46 MF VCEQ を微調整しました。

すべての STM システムで一貫性と互換性を保てるよう、今回の最新版ファームウェアに更新することを強く推奨します。

既知の問題

NXAMP

- (NXAMP フロントパネルまたは ESmonitor から) セットアップビルダーを使用してカスタムアクティブセットアップを作成する場合、2 つのチャンネル間でパッチとディレイがリンクしません。アクティブモードで両方のチャンネルに同じパッチと同じディレイが適用されていることを確認してください。

ESmonitor

- Windows 8 でスリープモードから復帰するときに、ESmonitor を起動できない場合があります。再起動する必要があります。

NXwin

- NXDT104 のポートからの NXAMP ファームウェアの更新は、ネットワーク上で DHCP サーバが実行されている場合のみ実行できます。

LOAD3_14 更新情報**大きな変更**

LOAD2_55 以降、以下の大きな変更内容が導入されました。

NXAMP4x4 ファームウェアのアンプ保護機能に関する不具合が確認され修正されました。

NXAMP4x4 をご使用中のすべてのお客様は、ファームウェアを LOAD2_55 またはそれ以降のバージョンにアップデートしてください。

新たなキャビネット対応

ありません。

ファームウェアの変更とバグの修正

NXAMP

- アナログ入力使用時のゲイン構成に若干の変更を行いました。

ソフトウェアの変更

- ESmonitor と Nxwin4 が Windows 8 オペレーティングシステムに対応しました。

LOAD3_14 のキャビネットセットアップの変更

EQ 設定の変更

LOAD3_14 では、STM セットアップで最新の改良が行われています。

- B112 : 60 Hz~180 Hz セットアップと 85 Hz~180 Hz セットアップの追加
- M46 : 180 Hz~20 kHz セットアップの追加
- M46 : 300 Hz~500 Hz 帯域幅での+2 dB の調整と 790 Hz での VCEQ の追加
- M46 : HF シェルビングフィルターでの-2 dB の調整

すべての STM システムで一貫性と互換性を保てるよう、今回の最新版ファームウェアに更新することを強く推奨します。

2 kHz~4 kHz レンジの間で 45N12x2 のセットアップを修正し、45N12x1 セットアップとのコヒーレンスが改善しています。

STM と 45N12 以外のセットアップはどれも変更されていません。

フェーズ・アラインメントの変更

ありません。

保護機能の変更

- M46 で 790 Hz に VCEQ を追加しました。

既知の問題

NXAMP

- (NXAMP フロントパネルまたは ESmonitor から) セットアップビルダーを使用してカスタムアクティブセットアップを作成する場合、2 つのチャンネル間でパッチとディレイがリンクしません。

アクティブモードで両方のチャンネルに同じパッチと同じディレイが適用されていることを確認してください。

LOAD3_13 更新情報

LOAD3_13 の公式リリースはありません。

LOAD3_12 更新情報

大きな変更

LOAD2_55 以降、以下の大きな変更内容が導入されました。

NXAMP4x4 ファームウェアのアンブ保護機能に関する不具合が確認され修正されました。

NXAMP4x4 をご使用中のすべてのお客様は、ファームウェアを LOAD2_55 またはそれ以降のバージョンにアップデートしてください。

新たなキャビネット対応

NEXO STM シリーズに 2 レイヤーのイコライゼーションが搭載されています。

- 最初のレイヤー「STM」にはフルレンジのリニア特性が備わっています。
- 「STM C1」は経験豊富なツアーエンジニアの協力を得て定義された追加イコライゼーションポイントが含まれる新しいレイヤーに属します。

どちらのセットアップも、最新世代の NEXO デジタル処理を使用することで、リニアフェーズ周波数特性が他の NEXO スピーカーのレンジと完全に互換性を持ちます。これにより、複数のシステムが混在している場合にタイムアライメントを簡単に行うことができます。

- M46 メインモジュールは、4 つのモード (それぞれ **Standard** または **C1** に設定可能な **Flown** と **Stack**) で使用できます (上記参照)。どちらのモードでも 85 Hz

と 120 Hz の 2 つのハイパス周波数を使用できます。

- **B112** ベースモジュールは、**Standard** と **C1** の 2 つのモードで使用できます（上記参照）。どちらのモードでも 55 Hz と 60 Hz の 2 つのハイパス周波数を使用できます。
- **S118** は、**無指向性（オムニ）モード**（60、85、120 Hz で 3 つのローパス周波数を使用可能）、**指向性（カーディオ）B2B**（2 ユニットバックツージャック）モード（60 または 85 Hz で 2 つのローパス周波数）、**指向性 S2S**（2 ユニットサイドツージャック）モードの 3 つの異なるセットアップで使用できます。

詳しくは STM のユーザーマニュアルをご覧ください。

ファームウェアの変更とバグの修正

LOAD3_11 に関し、CPU と DSP ファームウェアで以下の点が改良されました。

NXAMP/DMU/DPU

- ESmonitor および DMU ユニットの入力メーターの表示を変更しました。入力アナログゲインに関係なく、入力メーターゲインが固定されるようになりました。
- LOAD3_11 で導入された GPIO モード 3 と 4 の不具合を修正しました。
- SPK8/SPK4 スピーカーが混在している場合にルーティングする際の DPU の不具合を修正しました。

ソフトウェアの変更

- ESmonitor が最新版にアップグレードされ、ソフトウェアと ES サービスが改良されました。

LOAD3_12 のキャビネットセットアップの変更

EQ 設定の変更

- STM シリーズ（M46、B112）の新しいイコライザーセット。上記参照。
- アレイカーパチャーに対応するように設計された、M46 HF の新しいアレイ EQ（高周波数シェルビングフィルター）。
- 低周波数カップリングを補正するように、M46 MF でアレイ EQ を修正しました（低周波数シェルビングフィルター）。

フェーズ・アラインメントの変更

- S118 のカーディオセットアップで極性を修正しました。
- フロントおよびリード S118 カーディオセットアップでリンクパラメーターを使用できません。

保護機能の変更

- B112 の熱保護機能を改良しました。

LOAD3_11 更新情報

大きな変更

LOAD2_55 以降、以下の大きな変更内容が導入されました。

NXAMP4x4 ファームウェアのアンブ保護機能に関する不具合が確認され修正されました。

NXAMP4x4 をご使用中のすべてのお客様は、ファームウェアを LOAD2_55 またはそれ以降のバージョンにアップデートしてください。

重要な変更

この新しいファームウェアは、NXAMP4x1 と NXAMP4x4 両方に対応する新しいアクセサリ/拡張カードをサポートしています。

- DMU (NXAMP 用デジタルメーターユニット) をサポートしています。
- DPU (NXAMP 用デジタルパッチユニット) をサポートしています。
- NXAMP4x4W (NXAMP4x4 のデュアルポルテージバージョン) と互換性があります。
- NXDT104 (NXAMP 用 Dante™ 拡張カード) をサポートしています。

新たなキャビネット対応

NEXO STM シリーズ (M46 メインモジュール、B112 ベースモジュール、S118 サブモジュール) は、LOAD3_11 (計 7 つの NEXO セットアップ) と統合されています。

- M46 メインモジュールは、**Stack** と **Flown** の 2 つのモードで使用できます。Stack モードでは 120 Hz のみのハイパス周波数、Flown モードでは 85 Hz と 120 Hz の 2 つのハイパス周波数を使用できます。
- B112 ベースモジュールは、**Stack** と **Flown** の 2 つのモードで使用できます。どちらのモードでも 55 Hz と 60 Hz の 2 つのハイパス周波数を使用できます。
- S118 は、無指向性 (オムニ) モード、**指向性 (カーディオ) B2B** (2 ユニットバックツーバック) モード、**指向性 S2S** (2 ユニットサイドツーサイド) モードの 3 つの異なるセットアップで使用できます。

詳しくは STM のユーザーマニュアルをご覧ください。

ファームウェアの変更とバグの修正

LOAD3_01 に関し、CPU と DSP ファームウェアで以下の点が改良されました。

NXAMP

- 新しいアクセサリ/拡張カードをサポートしました（上記参照）。
- LOAD3_01 に導入されたラウドスピーカーシャーシの熱シミュレーションの不具合を修正しました。
- 複数の入力があるときのゲイン構成の不具合を修正しました。
- デジタル入力ゲイン構成を LOAD2_58 の構成に戻しました。
- カスタムセットアップビルダーの表示の不具合を修正しました。
- ESmonitor のグローバルミュート機能の不具合を修正しました。
- GeoT 2815 のセットアップがカスタムセットアップビルダーに追加されました。

NXES104

- このパッケージに含まれている新しいファームウェア 0x0D0E により、DMU のネットワーク LED アクティビティの表示が可能になります。NXES104 は、NXAMP のファームウェアが NXES104 In または Remote ポートからアップグレードされると、自動的にアップグレードされます。

ソフトウェアの変更

- 新しいDLD ファイル形式に対応するよう、Nxwin がアップデートされました。
- NXDT104 使用時の、Dante™ ネットワークを介した NXAMP のリモートコントロールに対応するよう、ESmonitor がアップグレードされました。
- ESmonitor のアンプのグルーピングに関する不具合を修正しました。

LOAD3_11 のキャビネットセットアップの変更

EQ 設定の変更

- RS15 と LS600 のハイパスフィルターが微調整されました。
- S2 の周波数特性をオリジナルの EQ に戻しました。
- GeoS1210 のアクティブ LF セットアップに 1.5dB のゲインがありませんでしたが、今回修正されました。
- GeoT4805 用の Nexo 工場出荷時の設定が 55 Hz クロスオーバーから 85 Hz に修正されました。

フェーズ・アラインメントの変更

- GeoS1210 のアクティブセットアップのフェーズが微調整されました。
- RS18 カーディオセットアップの低域効率と範囲を最適化しました。

ゲインの変更

- グローバルゲインバランスを見直し、同じ入力レベルでプロテクションが始まることを維持しつつ、スピーカー間の音量感のバランスが極力崩れないようにしました。

保護機能の変更

- GeoD のパッシブセットアップに新しい HF VCEQ が追加されました（アクティブセットアップにはすでにありました）。
- GeoD のピークリミターが、アクティブとパッシブ両方のセットアップで改良されました。
- 指向性（カーディオ）モードの CD12、S2、GeoD、GeoS805、PS10R2、RS15 上の一部の VCEQ 中心周波数が微調整されました。
- Alpha M3、B1-15、AEM、B1-18、GeoT 上の一部のピークリミターのアタック/リリースが微調整されました。

LOAD3_02 から LAOD3_10 更新情報

LOAD3_02 から LOAD3_10 までの公式リリースはありません。

LOAD3_01 更新情報

大きな変更

LOAD2_55 以降、以下の大きな変更内容が導入されました。

NXAMP4x4 ファームウェアのアンプ保護機能に関する不具合が確認され修正されました。

NXAMP4x4 をご使用中のすべてのお客様は、ファームウェアを LOAD2_55 またはそれ以降のバージョンにアップデートしてください。

重要な変更

この新しいファームウェアは初の NXAMP 製 Tdcontroller 専用ファームウェアであり、NX242、NX242-CAI、NX242-ES4 といった旧ハードウェアと互換性のあった（そのため制約もあった）過去の旧ファームウェアから格段に改善されています。

- すべての NEXO システムが固定レイテンシー値 3.56ms で、20Hz~20kHz に対応したリニアフェーズとなりました (*)。
- すべてのセットアップが 60Hz - 85Hz - 120Hz のクロスオーバー点で使用できるようになりました (**)。
- すべての NEXO セットアップを NXAMP チャンネルで、個別に割り当てて設定できるようになりました (***)。

- **GeoS1210 および GeoS1230 セットアップがアップデートされました。**

* Alpha および AlphaE セットアップ、最大 300Hz にのみ対応した位相、レイテンシー 1.66ms の PS15R2 MON セットアップを除く。

** システム周波数帯域内の場合

*** アップデートされた ESmonitor リモートコントロールソフトウェアにはこれらの機能が搭載されています。

これらの新機能による影響は次のとおりです。

- **複数の NXAMP を使用する場合、セットアップに位相互換性がないため LOAD3_01 と旧ファームウェアを混在させないでください。**
- **LOAD3_01 は旧 NEXO Digital TDcontroller (NX241、NX242、NX242ES4 など) では読み込めません。**

新たなキャビネット対応

ありません。

ファームウェアの変更とバグの修正

LOAD2_58 に関し、CPU と DSP ファームウェアで以下の点が改良されました。

NXAMP

- 新しい「カスタムコンフィグ」メニューにより、ブリッジモードであるか否かを問わず、様々なクロスオーバー点で NXAMP の各出力のスピーカーセットアップを個別に選択することができます。
- ミュート状態の NXAMP に接続されたサブの次に、その他のサブが使用された場合に発生する不具合を修正し、誤った短絡保護トリガーが働かなくなりました。
- 通常のアナログ入力ゲインにマッチするよう、Ethersound 入力使用時の 5.5dB のゲインが取り除かれました。
- アナログおよびデジタル入力ビューメーターの 0dBFS リファレンスの不具合を修正しました。

ソフトウェアの変更

- Nxwin のアップデートで、新しい DID ファイル形式への対応が実現し、また一部のコンピュータでシリアルポートが使用されていた場合に、ファームウェアのアップデート中、時々ダウンロードが中断する不具合を修正しました。

- ESmonitor のアップデートで、新しい NXAMP ファームウェア構造への対応が実現しました（個別スピーカー出力選択による）。
- ESmonitor を介した NXAMP のリモート制御の信頼性が向上しました。

LOAD3_01 のキャビネットセットアップの変更

EQ 設定の変更

- GeoS1210 および GeoS1230 セットアップ：これらのセットアップでのイコライゼーションに重要な改良が行われました（アクティブ・パッシブの両方）。

フェーズ・アラインメントの変更

- すべてのセットアップにリニアフェーズと位相互換性が導入されました。これにより、ユーザーはスピーカー間の物理的距離を入力するだけでフェーズを合わせることが可能になりました（Alpha M8/M3、Alpha EM、PS15R2 Mon は除く）。

新規セットアップの追加

- スピーカーごとに様々なクロスオーバーの選択が可能になりました（選択したスピーカーによって異なりますが、通常はワイドバンド、60 Hz、85 Hz、120 Hz）。

LOAD2_59 から LAOD3_00 更新情報

LOAD2_59 から LOAD3_00 までの公式リリースはありません。

LOAD2_58 更新情報

大きな変更

LOAD2_55 以降、以下の大きな変更内容が導入されました。

NXAMP4x4 ファームウェアのアンプ保護機能に関する不具合が確認され修正されました。

LOAD2_55 以前のファームウェアで NXAMP4x4 をご使用中のお客様は、ファームウェアを LOAD2_58 にアップデートしてください。

重要な変更

少数台の NXAMP で起動時に稀に DSP がクラッシュする症状が報告されています。この新しいファームウェアでは、ユニットのミュート解除前に DSP が正しく作動しているかをチェックします。

新たなキャビネット対応

ありません。

ファームウェアの変更とバグの修正

LOAD2_57 に関し、NXAMP の CPU と DSP ファームウェアで以下の点が改良されました。

- NXAMP の *Input Patch* (入力パッチ) セクションを改良し視認性が向上しました。NXAMP の各出力表示とキャビネット接続端子のピン配置表示が更にわかりやすくなりました。詳細はユーザーマニュアルの改訂内容をお読みください。
- ディレイの単位をフロントパネルのユーザーインターフェースからミリ秒、メートル、フィートの間で切り替え可能になりました。
- ユニットの入力の過負荷を防ぐため、HEADROOM (ヘッドルーム) 設定が 12dB ではなく 8dB に制限されました。
- GPIO モード 5 (インピーダンス監視機能) で、シーンリコール時の不具合を修正し、内部バーストジェネレータが正しく再起動するようになりました。
- 無指向性 (オムニ) モードの RS15、RS18 のセットアップで 2 チャンネル (ゲイン、ディレイ、パッチ) がリンクされました。このリンク設定は指向性 (カーディオ) モードのセットアップではすでにありました。
- NXES104 のファームウェアがバージョン 0x0D0D にアップデートされました。これ以前のファームウェアで NXES104 をお使いの場合は、NXAMP のダウンロードが開始すると自動的にこのバージョンにアップデートされます。ファームウェアの改訂バージョン番号は、ESmonitor のプロパティページに表示されます。
- ファームウェア 0x0D0D では、ジッター補正技術により、NXES104 カード取り付け時に、NXAMP の全ダイナミックレンジを 2dB 改善します。
- ファームウェア 0x0D0D では ASIO がサポートされており、NXAMP とコンピュータを 1 本の Ethernet CAT5 ケーブルで接続するだけで、PC 上の ASIO ホストソフトウェアから 24 ビット、48 KHz のオーディオを最高 4 チャンネルまでストリーミングすることができます。
- NXES104 と NXAMP のファームウェアがダウンロードされたら、表示メッセージに従ってユニットの電源をオフにし、もう一度オンにして、NXES104 のアップデートを終了します。

ソフトウェアの変更

- ありません。

LOAD2_58 のキャビネットセットアップの変更

EQ 設定の変更

- PS15R2 NXS セットアップ: PS15R2 NXS セットアップ (MON/ANL のセットアップは除く) でのイコライゼーションに重要な改良が行われました。

フェーズ・アラインメントの変更

- S12 セットアップ: S12 NXS の各セットアップ (ANL、NX242ES4 は除く) が 20~20k で位相の互換性を持つよう、フェーズ・アラインメントを若干変更しました。(s1210-

1230 アクティブ・パッシブ)

- S1210のアクティブ・パッシブ特性が一致するよう若干の変更を加えました。
- S1230のアクティブ・パッシブ特性が一致するよう若干の変更を加えました。

新規セットアップの追加

- NXAMPに2xLS600ブリッジセットアップを追加しました。
- NX242ES4、NX242CAI、NXAMPに、PS15 XOステレオとS2 XOステレオの併用セットアップを追加しました。
- NXAMPにPS15R2 Monitor、ブリッジチャンネル2系統のセットアップを追加しました。

セットアップの削除

- NXAMPのAlpha S2ブリッジセットアップはインピーダンスが低すぎるため削除しました。

LOAD2_57 更新情報

大きな変更

LOAD2_55以降、以下の大きな変更内容が導入されました。

NXAMP4x4ファームウェアのアンプ保護機能に関する不具合が確認され修正されました。

LOAD2_55以前のファームウェアでNXAMP4x4をご使用中のお客様は、ファームウェアをLOAD2_57にアップデートしてください。

重要な変更

LOAD2_56搭載のNXAMP上で、スピーカーセットアップの一部に不具合が確認されました。アンプ電源投入時、セットアップリコール時、または一定の使用時間経過後、チャンネル1がミュート状態になり、やがてチャンネル2もミュート状態になる場合があります。

新たなキャビネット対応

ありません。

ファームウェアの変更とバグの修正

LOAD2_56に関し、CPUとDSPファームウェアで以下の点が改良されました。

- NXAMPの「チャンネル1、またチャンネル2も時折」ミュートする問題（上記参照）を解決しました。

ソフトウェアの変更

- ありません。

LOAD2_57 のキャビネットセットアップの変更

ありません。

LOAD2_56 更新情報

大きな変更

LOAD2_55 以降、以下の大きな変更内容が導入されました。

NXAMP4x4 ファームウェアのアンプ保護機能に関する不具合が確認され修正されました。

LOAD2_55 以前のファームウェアで NXAMP4x4 をご使用中のお客様は、ファームウェアを LOAD2_56 にアップデートしてください。

重要な変更

LOAD2_55 搭載 GeoS1210、GeoS1230 のワイドバンド・パッシブセットアップで不具合が確認されました。デジタルフィルターが不安定なため、システム電源投入後一定時間が経過すると、プログラム素材によっては、このセットアップで高周波数の振動音が低レベルで聞こえる場合があります。この問題は今回のリリースで修正しました。

新たなキャビネット対応

ありません。

ファームウェアの変更とバグの修正

- NX242 にて GeoT セットアップを選択し、ディレイの単位をインチに設定すると NX242 がハングアップする不具合を修正しました。
- NXtension を装着した NX242 で、GeoS12 のアクティブセットアップを選択した場合、フロントパネル上の LF 出力チャンネルのインジケータが緑色に点灯し、チャンネル 3 とチャンネル 4 から HF 出力を得るセットアップにおいて HF 出力にノイズが混入しました。
- GeoS12 パッシブワイドバンドセットアップにて、使用開始数時間後に低レベルの高周波数正弦波が出力される症状が確認されました。
- PS8 セットアップにおけるオーバープロテクション（過保護）の不具合を修正しました。
- NXAMP で保存できるキャビネットセットアップの数を増やしました。
- NXAMP 上の GPIO モード 2 にて ESmonitor からスタンバイに入るときに発生する不具合を修正しました。
- NXAMP での接続時に Ethersound™ ネットワークのクロック周波数を正しく検出するように修正しました。
- NXAMP で、4 x FLAT チャンネルモードを選択できない場合がある不具合を修正しました。
- NXAMP でヘッドルーム設定値を下げてソフトウェアのピークリミターが動作すると PEAK

インジケータが点灯するようになりました。

ソフトウェアの変更

- コンピュータの機種によってシリアルポートでのダウンロード時に生じる不具合を、Nxwin 4.1.0.5 で修正しました。(NXAMPに最初のブロックを送信後「ダウンロードができませんでした」というメッセージが表示されました。

LOAD2_56 キャビネットのセットアップ変更

現在 5 機種のハードウェアで 443 種類のセットアップがサポートされており、そのうち LOAD2_55 をもとに追加された新規セットアップが 2 種類あります。詳細については同梱のセットアップ一覧表を参照してください。

EQ 設定の変更

- PS8 セットアップ：PS8 に関するセットアップすべて（クロスオーバーおよびワイドバンド）が、更新された EQ にアップロードされました。
- すべての 45N12 セットアップ（アクティブ、パッシブ、クロスオーバーまたはワイドバンド）の ArrayEQ の設定値を、キャビネットの「カップリング」補正のためにするために最適化しました。
- GeoS1210 と GeoS1230 のアクティブセットアップについて、NX242ES4 と NX242CAI ハードウェアでは旧（LOAD2_52）イコライザー設定値に戻しました。

フェーズ・アラインメントの変更

- GeoS1210 と GeoS1230 のアクティブセットアップについて、NX242ES4 と NX242CAI ハードウェアでは旧（LOAD2_52）フェーズ・アラインメント設定値に戻しました。

新規セットアップの追加

- NXAMP のアクティブモードで 45N12 セットアップに 2×連結キャビネットセット、3×連結キャビネットセットを追加しました。

LOAD2_55 更新情報

大きな変更

以下の大きな変更内容が LOAD2_55 で導入されました。

NXAMP4x4 ファームウェアのアンプ保護機能に関する不具合が確認され修正されました。

NXAMP4x4 をお使いの場合は、LOAD2_55 にアップデートしてください。

新たなキャビネット対応

新しい NEXO 45N12 ウェッジセットアップが、LOAD2_56 で追加されました（合計 18 セットアップ）。

- **45N12 ステレオ 2-ウェイアクティブモード（クロスオーバーおよびワイドバンド）** を、NX242CAI、NX242ES4、NXAMP で対応しています（Nxstream プロセッシング）。
- **45N12 2-ウェイアクティブモード（クロスオーバーおよびワイドバンド）+LS600 サブウーファー** を、NX242CAI、NX242ES4、NXAMP で対応しています（Nxstream プロセッシング）。
- **45N12 ステレオパッシブモード（クロスオーバーおよびワイドバンド）** を、NX242CAI、NX242ES4 で対応しています（Nxstream プロセッシング）。
- **45N12 4 チャンネルパッシブモード（クロスオーバーおよびワイドバンド）** を、NXAMP で対応しています（Nxstream プロセッシング）。
- **45N12 ステレオパッシブモード（クロスオーバーおよびワイドバンド）+ステレオ LS600 サブウーファー** を、NXAMP で対応しています（Nxstream プロセッシング）。
- **45N12 4 チャンネル LF アクティブモード、ワイドバンド** を、NXAMP で対応しています（Nxstream プロセッシング）。
- **45N12 4 チャンネル HF アクティブモード、ワイドバンド** を、NXAMP で対応しています（Nxstream プロセッシング）。

NX242CAI、NX242ES4、Nxtension ファームウェアの変更とバグの修正

- 旧ファームウェアに関する変更はありません。

NXAMP ファームウェアの変更とバグの修正

- NXAMP4x4 ファームウェアの保護機能に関する不具合を修正しました。
- NXAMP と NX24x シリーズ製品とのレイテンシー互換性を削除しました。
- NXAMP のピークリミターを改善しました。
- NXAMP に、高周波パイロットトーンジェネレータを用いた Ethersound™ ネットワーク経由ラウドスピーカーインピーダンス監視機能を実装しました。
- 複数チャンネルで同一入力を使用しているときの自動ダイナミックレンジアルゴリズムを変更しました。
- GPIO 経由でラウドスピーカーインピーダンスをリモートコントロールできる「GPIO モード 5」を追加しました。
- クロック周波数が 48KHz 以外の Ethersound™ ネットワークでは NXAMP が動作しないようにしました。
- アンプをスタンバイから復帰させたときに Ethersound™ を介したリモートコントロールで生じる不具合を修正しました。
- ESmonitor を介したオーバーミュート機能の不具合を修正しました。

- ESmonitor を介してキャビネットセットアップを変更した場合に発生する不具合を修正しました。

ソフトウェアの変更

- 新しい Nxwin v4.1.0.1 ファームウェアアップデート : LOAD2_55 には、必ずこのバージョンの NXwin を使用してください。新しいインストール手順によって、インストール時の問題点を解決し軽微な不具合を修正しました。
- ESmonitor v3.11.1 リモートコントロールソフトウェア : NXAMP コントロールページを若干変更しました。またインストール手順を変更しました。
- AVS-Firmware Updater v3.29 (NXtension-ES4 ファームウェアアップデート用) : インストール手順を若干変更しました。

LOAD2_55 キャビネットセットアップの変更

現在 5 機種種のハードウェアで 437 種類のセットアップがサポートされており、そのうち LOAD2_53 をもとに追加された新規セットアップが 46 種類あります。詳細については同梱のセットアップ一覧表を参照してください。

EQ 設定の変更

- GeoD : HF 周波数特性をオリジナルに戻しました (LOAD2_52 で採用したブリックウォール型 LPF を止め、19 KHz の LPF に戻しました)。一部保護機能でのアタック/リリースタイムを微調整しました。
- PS15R2 NXS : Load2.52 の LPF を「緩やかな肩特性」を持つフィルターに変更したため、Nxstream セットアップの高域周波数特性が拡張されました。
- PS15R2 MON : アクティブ・パッシブモニターセットアップを調整して、ステージモニターとしての特性を改善しました (低域周波数特性の拡張、中域イコライザーの変更)。モニターセットアップが NX242ES4 および NX242CAI で使用できるようになりました。
- RS15 Cardio : ESmonitor 上での VUE メーターに影響する非可聴帯域歪の不具合を修正しました。

フェーズ・アラインメントの変更

- GeoS1210 および GeoS1230 : 新たなタイムアラインメント設定により、40 Hz~8 KHz において相互のキャビネットタイプのフェーズ特性をより一致させました。

新規セットアップの追加

- NXAMP で、3 x PS8 + 1 x LS400 のセットアップを NXAMP に追加しました (3 x PS8 ワイドバンドまたは 3 x PS8 クロスオーバーまたは 2 x PS8 クロスオーバー + 1 x PS8 ワイドバンドモード)。
- 2 x PS8 クロスオーバー + 2 x LS600 を NXAMP に追加しました。
- 2 x PS8 クロスオーバー + 1 x LS600 ブリッジを NXAMP に追加しました。
- NXAMP で、3 x PS10R2 + 1 x LS600 のセットアップを NXAMP に追加しました (3 x PS10R2 ワイドバンド、または 3 x PS10R2 クロスオーバー、または 2 x PS10R2 クロスオーバー + 1 x PS10R2 ワイドバンドモード)。
- PS15R2 アクティブモニター : アナログタイプのプロセッシング、ステレオモード (NX242ES4、NX242CAI、NXAMP)、Nxstream、クロスオーバー、ワイドバンド、ステレオ/ブリッジモード (NXAMP)、RS15 オムニ、RS18 オムニまたは RS18 オムニブリッジでモノ (NXAMP) を追加しました。
- 2 x PS15R2 NXS (Nxstream) ワイドバンド + 2 x PS15R2 MON (モニター) を NXAMP に追加しました。
- 2 x GeoS805 クロスオーバー + 2 x LS600 を NXAMP に追加しました。
- 2 x GeoS805 クロスオーバー + 1 x LS600 ブリッジを NXAMP に追加しました。
- 1 x GeoS805 クロスオーバーブリッジ + 1 x LS600 ブリッジを NXAMP に追加しました。
- 1 x AlphaE パッシブ + 1 x B1-18 クロスオーバー + 2 x S2 80 Hz を NXAMP に追加しました。
- RS15 + RS18 (指向性 (カーディオ) モード、または無指向性 (オムニ) モード) を NXAMP に追加しました。
- S1210 アクティブクロスオーバーおよびワイドバンドを NX242ES4 および NX242CAI に追加しました。(チャンネル1と2でLF出力、チャンネル3と4でHF出力)
- S1210/S1230 アクティブ LF4 チャンネル (クロスオーバーおよびワイドバンド)、S1210/S1230 アクティブ HF4 チャンネルを NXAMP 上に追加しました。

LOAD2_54 更新情報

- LOAD2_54 の公式リリースはありません。

LOAD2_53 更新情報

新たなキャビネット対応

- LOAD2_52 のキャビネットセットアップへの追加はありません。

NX242CAI、NX242ES4 ファームウェアの変更とバグの修正

- LOAD2_52 からのファームウェアの変更はありません。

NXAMP ファームウェアの変更とバグの修正

- 一部セットアップでのタイムアラインメントで若干の不具合を修正しました。
- 工場での LOAD のプログラミングを検証するチェックサム機能を追加しました。

ソフトウェアの変更

- LOAD2_52 からのソフトウェアの変更はありません。

キャビネットセットアップの変更

- LOAD2_52 からのセットアップの変更はありません。

LOAD2_52 更新情報

大きな変更

以下の大きな変更が LOAD2_52 で導入されました。

GeoD HF ダイアフラムのアクセラレーションプロテクションを改善しました。旧 LOAD と比較して音質、圧カレベルに差はありません（この保護機能は音楽素材上では非可聴です）が、高音圧使用時のダイアフラムの安定性が大きく改善しました。

新たなキャビネット対応

新しい RS18 サブウーファーを LOAD2_52 で導入しました。

- **RS18 の無指向性（オムニ）モード**は NX242、NX242CAI、NX242ES4、NXAMP で対応しています。
- **RS18 の指向性（カーディオ）モード**は NX242CAI、NX242ES4、NXAMP で対応しています。
- **GeoD と RS18 の組合せ**は NX242CAI、NX242ES4、NXAMP で対応しています。
- **PS10R2 と RS18 の組合せ**は NX242CAI、NX242ES4、NXAMP で対応していません。
- **PS15R2 と RS18 の組合せ**は NX242CAI、NX242ES4、NXAMP で対応しています。
- **GeoS12 と RS18 の組合せ**は NX242CAI、NX242ES4、NXAMP で対応しています。
- **GeoS8 と RS18 の組合せ**は NX242CAI、NX242ES4、NXAMP で対応しています。

NX242CAI、NX242ES4 ファームウェアの変更とバグの修正

- セットアップ一覧に同一のセットアップが2回表示される不具合を修正しました。

NXAMP ファームウェアの変更とバグの修正

- GPIO モード2の不具合を修正しました。
- 設定保存時の不具合を修正しました。
- Ethersound™ネットワーク経由のリモートコントロールのプロトコルをアップデートしました。
- 入力パッチ表示画面が新しくなりました（アナログ/デジタルを分割）。
- 電源遮断時のUバージョンにおける電源スイッチからのノイズを解消しました。
- NX242 と類似したヘッドルーム機能を実装しました。
- 自動ダイナミックレンジ最適化マクロを調整しました。
- スピーカーパラメーターに関するアンプのピークリミターを修正しました。

ソフトウェアの変更

- ESmonitor v3.8.0 : Ethersound™を介した NXAMP4x1 および NXAMP4x4 のリモートコントロールが、LOAD2_52 によって大幅に変更されました。NXAMP の機能すべてが、ESmonitor ソフトウェアから完全にリモートコントロールできます。注：ESmonitor v3.8.0 から完全リモートコントロールできるようにするには、NXAMP に LOAD2_52 をインストールする必要があります。旧ファームウェアを搭載した NXAMP にも対応していますが、ESmonitor で使用できるパラメーターが一部に制限されます。
- AVS-FirmwareUpdater v3.10 : NX242ES4 の Ethersound™ボードファームウェアアップデート時の不具合を修正しました。これにより、ユニットはネットワーク側から見た場合、出力4系統、入力0と表示されます。

LOAD2_52 キャビネットセットアップの変更

現在 5 機種ハードウェアで 391 種類のセットアップがサポートされており、そのうち LOAD2_51 をもとに追加された新規セットアップが 68 種類あります。詳細については同梱のセットアップ一覧表を参照してください。

EQ 設定の変更

- S2 : Geo または PSR2 と併用時の ArrayEQ 中心周波数における不具合を修正しました。
- PS10R2 : イコライザーに若干の変更を行いました。
- PS15R2 : イコライザーに若干の変更を行いました。

フェーズ・アラインメントの変更

- LS400 : LS600 との互換性を持つようローパスフィルターの値を変更しました。
- PS8 : PS10R2/GEO に対してアラインメントを適正化しました。ただし旧 PS シリーズに対しては適正化していません。
- S830 : 互換性改善のためにアラインメントを調整しました。
- S1210/S1230 : 互換性改善のためにアラインメントを調整しました。
- CD18 : 互換性改善のためにアラインメントを調整しました。
- S2 : Geo または PSR2 と併用時の極性とアラインメントを変更しました。
- RS15 : 新しいフェーズ特性とレイテンシーの低減によりカーディオモードを改善しました。
- PS10R2 : 極性をポジティブに変更し、アラインメントのディレイを修正しました。
- PS15R2 : 極性をポジティブに変更し、アラインメントのディレイを修正しました。
- GeoD : 互換性改善のためにアラインメントを調整しました。

保護機能の変更

- PS10R2 : ピークリミターのアタック/リリースを変更しました。
- PS15R2 : ピークリミターのアタック/リリースを変更しました。
- PS15 : アクティブモード LF : 偏移リミターに使用している VCEQ アタックタイムの不具合を修正しました。
- GeoD : アクティブおよびパッシブ : HF ダイアフラムのアクセラレーションプロテクションを改良しました。